



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月6日

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 藤田 茂樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 池田 賢一

TEL 045-897-2425

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,475	13.1	807	18.6	738	26.9	439	21.1
2019年3月期第1四半期	12,055	21.4	681	130.0	581	122.6	363	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 479百万円 (31.7%) 2019年3月期第1四半期 364百万円 (292.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	99.78	
2019年3月期第1四半期	82.46	

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	59,645	18,228	30.6	4,134.56
2019年3月期	61,967	18,368	29.6	4,166.33

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 18,228百万円 2019年3月期 18,368百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		140.00	
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2019年3月期の1株当たり年間配当金は140円となります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	3.6	1,750	10.0	1,650	6.7	1,100	14.1	249.50
通期	51,000	3.9	3,300	17.5	3,000	20.7	2,000	19.4	453.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	5,192,619 株	2019年3月期	5,192,619 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	783,817 株	2019年3月期	783,807 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	4,408,807 株	2019年3月期1Q	4,404,108 株

(注)当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①業績全般について

当第1四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、FPD (Flat Panel Display) 業界については、大型パネル向け投資は中国を中心にテレビ向けの設備投資の一部で調整傾向が見られました。また、中小型パネル向け投資はスマートフォン用OLED (有機EL) 向けの設備投資が調整傾向でしたが、中国においては設備投資が進みました。

半導体業界については、データセンター向けサーバの需要低迷などを背景にメモリー向けの設備投資は回復の遅れが見られましたが、先端分野用途などロジック/ファウンドリ向けの設備投資や中国における設備投資は堅調に推移しました。また、OSAT (後工程受託メーカー) での設備投資はやや調整傾向となりました。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高は10,621百万円 (前年同期比44.0%減) となり、前四半期より回復してきましたが、前年同期に比べ減少となりました。売上高は10,475百万円 (前年同期比13.1%減)、営業利益は807百万円 (前年同期比18.6%増)、経常利益は738百万円 (前年同期比26.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は439百万円 (前年同期比21.1%増) となり、減収増益となりました。

## ②セグメントの業績について

主な事業セグメントの業績は次のとおりです。

## (ファインメカトロニクス部門)

FPD前工程では、受注は前四半期より伸長しましたが、大型パネル向け装置、中小型パネル向け装置ともに前年同期に比べ、受注、売上がともに減少しました。

半導体前工程では、ロジック/ファウンドリ向けやウェーハ向けを中心に設備投資が継続し、受注、売上がともに増加しました。

この結果、部門全体では前年同期に比べ、受注、売上がともに減少し、売上高は5,220百万円 (前年同期比14.4%減) となりました。セグメント利益は機種構成の変化やコストの改善などにより、132百万円 (前年同期はセグメント損失30百万円) となりました。

## (メカトロニクスシステム部門)

FPD後工程では、大型パネル向け装置、中小型パネル向け装置ともに活況を呈した前年同期に比べ受注は減少し、売上也減少しました。

半導体後工程では、先端分野向けの設備投資は堅調に推移しましたが、モバイルデバイス用部品向けの設備投資はやや調整傾向となり、前年同期に比べ、受注、売上がともに減少しました。

真空応用装置では、顧客設備投資計画の変更などにより、受注が減少しました。売上は車載関連、電子部品関連向け成膜装置などを中心に増加しました。

この結果、部門全体では前年同期に比べ、受注、売上がともに減少し、売上高は4,295百万円 (前年同期比13.7%減) となりました。セグメント利益は減収の影響により減少しましたが、コストの改善などにより、626百万円 (前年同期比10.8%減) となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,322百万円減少し59,645百万円となりました。これは主に現金及び預金が529百万円、商品及び製品が234百万円、建設仮勘定が255百万円増加した一方で売掛金が2,409百万円、未収入金が1,041百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,182百万円減少し41,416百万円となりました。これは主に長期借入金が500百万円、前受金が129百万円増加した一方で支払手形及び買掛金が1,214百万円、未払費用が609百万円、未払法人税等が1,057百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ140百万円減少し18,228百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期業績につきましては、2019年5月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,186	13,716
受取手形及び売掛金	30,243	27,760
電子記録債権	495	511
商品及び製品	1,120	1,354
仕掛品	2,128	2,111
原材料及び貯蔵品	227	301
未収入金	1,902	861
その他	394	569
貸倒引当金	△197	△189
流動資産合計	49,500	46,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,919	28,943
減価償却累計額	△20,092	△20,180
建物及び構築物(純額)	8,826	8,763
機械装置及び運搬具	4,977	5,341
減価償却累計額	△4,085	△4,221
機械装置及び運搬具(純額)	892	1,120
工具、器具及び備品	964	973
減価償却累計額	△742	△767
工具、器具及び備品(純額)	221	206
土地	119	119
リース資産	297	287
減価償却累計額	△278	△270
リース資産(純額)	18	16
建設仮勘定	457	713
有形固定資産合計	10,536	10,939
無形固定資産		
特許権	309	312
その他	372	398
無形固定資産合計	682	711
投資その他の資産		
投資有価証券	123	126
長期前払費用	16	15
繰延税金資産	826	554
その他	282	301
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,247	996
固定資産合計	12,466	12,647
資産合計	61,967	59,645

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,134	13,919
短期借入金	5,100	5,100
1年内返済予定の長期借入金	4,500	4,500
リース債務	5	4
未払法人税等	1,156	99
未払費用	3,518	2,908
前受金	1,074	1,203
役員賞与引当金	39	18
受注損失引当金	3	—
その他	768	862
流動負債合計	31,300	28,616
固定負債		
長期借入金	1,500	2,000
リース債務	13	12
長期未払金	2	2
退職給付に係る負債	7,349	7,358
役員退職慰労引当金	14	16
修繕引当金	304	296
資産除去債務	36	36
長期預り保証金	3,078	3,078
固定負債合計	12,298	12,800
負債合計	43,598	41,416
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,037	9,037
利益剰余金	7,391	7,211
自己株式	△4,037	△4,037
株主資本合計	19,152	18,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	31
為替換算調整勘定	282	279
退職給付に係る調整累計額	△1,095	△1,055
その他の包括利益累計額合計	△784	△744
純資産合計	18,368	18,228
負債純資産合計	61,967	59,645

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	12,055	10,475
売上原価	8,742	7,135
売上総利益	3,313	3,340
販売費及び一般管理費	2,632	2,532
営業利益	681	807
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	3
為替差益	76	—
デリバティブ評価益	—	56
その他	28	8
営業外収益合計	106	68
営業外費用		
支払利息	32	32
為替差損	—	51
デリバティブ評価損	156	—
その他	16	53
営業外費用合計	205	137
経常利益	581	738
税金等調整前四半期純利益	581	738
法人税、住民税及び事業税	14	27
法人税等調整額	204	270
法人税等合計	218	298
四半期純利益	363	439
親会社株主に帰属する四半期純利益	363	439

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	363	439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	2
為替換算調整勘定	△57	△2
退職給付に係る調整額	58	39
その他の包括利益合計	0	39
四半期包括利益	364	479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	364	479

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	6,098	4,975	492	488	12,055
セグメント間の内部売上高又は振替高	17	35	—	—	53
計	6,116	5,011	492	488	12,109
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△30	701	△47	121	744

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	744
全社費用(注)	△66
その他	△96
四半期連結損益計算書の経常利益	581

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	5,220	4,295	472	487	10,475
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	34	—	—	44
計	5,230	4,330	472	487	10,519
セグメント利益又はセグメント損失(△)	132	626	△58	148	848

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	848
全社費用(注)	△83
その他	△27
四半期連結損益計算書の経常利益	738

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。